

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ
横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304号 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp
URL: http://takefan.jp
現在の会員数 正会員 129名/準会員 8名/賛助会員 個人 17名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 121名)

久々の新事業発足で活性化を！

新規プロジェクトで反転の一步を

今期の年間活動計画には久しぶりに新規プロジェクトが登場予定です。数年間試作研究を続けた食品加工事業「たけの子するめ」の正式販売を皮切りに、竹の学校に新しく「竹かご教室」と「親子体験教室」の開講が企画されています。さらに横浜市の「よこはま夢ファン」を活用した寄付制度、「ふるさと納税」も始まります。久しぶりのプロジェクト、踊り場を迎えた竹ファンクラブに反転のきっかけとなることが期待されます。

今期は新規プロジェクト3+1がファンクラブ活性化への期待を担い始動します。

1. 筍加工食品の販売開始

筍を食べて放置竹林を減らそうプロジェクト「たけの子するめ」が、昨年「そうざい製造業」の営業許可を得たことで、いよいよ今春より本格的に製造販売を開始します。「たけの子するめ」が筍の新たな需要創出と消費拡大を推進して、竹林保全のモデルとなることが期待されます。

2. 竹かご編み教室

昨今、若い人を中心に竹かご編みの関心が高まっています。当クラブも「竹かご教室」を開設し、竹工芸の普及と竹文化の創造を目指します。竹伐りから体験する教室は竹林と市民を繋ぐ架け橋として、間伐材の継続的な循環活用にも貢献できます。

3. 親子竹林体験教室

近年、子どもたちの自然体験の機会が減り、その現況に警鐘が鳴らされるとともに自然体験活動の重要性が叫ばれています。竹の学校で身近な環境

竹の学校で身近な環境

に親しむ、親子竹林体験講座を開講します。「竹の間伐とジャングルジムづくり」や「たけのこ掘りと味噌汁づくり」等の体験プログラムを予定しています。

子どもの自然体験活動は「社会を生き抜く力」を育くむ効果や「自然体験の有無と学力アップの相関関係」などが認められています。竹林の体験活動を通じて子どもへの健全育成に貢献することを目的とします。

4. ふるさと納税のお願い

本年度より、竹ファンク

ラブは「よこはま夢ファン」の助成対象団体として登録が決定しました。今後この制度を活用して竹ファンクラブにご寄附いただきますと翌年の税金が減免されます。詳しくは通信同封のチラシをご覧ください。ただき積極的なご寄附をお願い申し上げます。

今年の新規プロジェクトが社会貢献だけでなく、会の未来に繋がる第一歩にしたいと思えます。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

12月2日は来春の出筈を期待して、全域に施肥（化成肥料 100K、硫酸 60K）をしました。

1月19日は午前で作業を終了し、午後は会員皆さんの安全と健康を祈念して、浜ドラゴンに移動して盛大な新年会を行いました。

1月26日は予定した分の竹穂垣の改修も順調に終わり、散策される方々に鑑賞して頂けたらと思います。

2月10日は急遽決定したA地区の土留め



を行いました。残材を

横に積み上げ、そこに割った灯籠を詰め込み、その上にチップをかぶせ踏みつけました。今までに無い大がかりな土留めです。これにより

チップ作業の軽減と騒音減少、塵の飛散も少なく風向きも気にせず、近隣への気遣いも少なくすみました。

次回は北風の吹きぬける寒さを感じる場所での四つ目垣の作成の予定です。

担当 眞板保昌



活動日 12/2・8、1/19・26、2/10 延参加者 66名

横浜国際プール支部

冬季の横浜国際プールは25mプール2面が通常営業、そして国際級50mメインプールは水抜きをして足場を架け蓋掛けした上が多目的コートとテニスコート化になっています。この間はここをホームグラウンドとするプロバスケットボールB1リーグ「横浜ビー・コルセアーズ」のゲームが開催されています。試合当日の午後には試合前イベントの観客が目を引きま

す。一方年末の竹林では心を込めた冬の施肥として米ぬか埋めと化成肥料撒きをしました。

年明け1月の活動は冬らしいどんより模様で開始時の急なあられ模様から何とか持ち直したなかを竹垣技術の傳承。マダケエリアの傷

んだ四ツ目垣を撤去してから改修となりました。初参加者もいて、

教える方の声にも力がかもっていました。立春過ぎの2月の活動は1月の再来！雪模様で参加者も少なく

倉庫で間伐竹のマーケティングの準備、早春の食材で季節の芽吹き「ふきのとう」採りをして早々に温かい所へ行きました。

担当 根岸秀行



活動日 12/15、1/12、2/9 延参加者 22名

こどもの国支部

1月22日、職場体験に来ている市内の中学生5名と一緒に作業をしました。弁当を食べた後も元気に走り回っている姿を見て、目を細めています竹ファンが沢山いました。

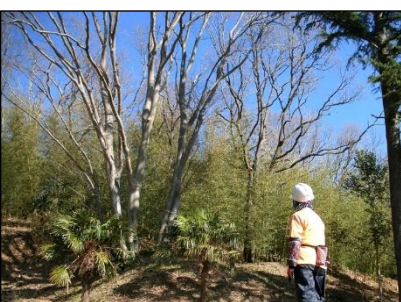
2月2日、オール竹ファンが集まって作業する年1回の休日作業です。昨年相談したマダケ林を1年ぶりに観察した代表の話を聞き、作業内容の確認を行いました。

マダケ林は若竹が順調に生育している事から、枯竹の伐採を行うようにとの助言を得て整備作業をすることにしました。

午後からはマダケ林の稈が黄色く変色している竹、枯れた竹を伐採しチップ機で処理しました。

作業終了後の帰り路にある梅林では紅白の花が咲き乱れ、ほのかな匂いに送られて、こどもの国を後にしました。

担当 中元秀幸



活動日 12/11、1/8・22、2/2 延参加者 54名

中井町支部

当期間の作業活動は4～5年前に整備を行った起伏の激しい谷間で、竹林の中心より東南方向を主に、間伐・運搬・焼却・チップ処理等の整備作業を行い、当面は当区域の作業を継続予定です。

また、1月10日は、化成肥料（10キロ×8袋）をフィールドより東側に施肥しました。1月24日は、3年前に施行した休憩所の竹垣が老朽化してきましたので、改修を行っており、2月7日現在、20



活動日 12/13、1/10・24、2/7 延参加者 45名

メートルが完成しています。体力作業に自信のある方と、竹垣作りを体験されたい方は是非中のフィールドで汗を流しませんか。ご参加をお待ちしております。担当石川正壽

伊豆の国支部

2018年の最終作業日である12月9日は、午前中は汗をたっぷり流し、午後は一年で最後の、地元の方々の楽しい懇親会を開きました。

江川家の菩提寺である本立寺の裏山で真竹林と奮闘中に、裏方は食材、機材手配に疾走、地元の有志よりイノシシ肉約4kgの寄付も頂き、寒風の中ながらも大いに交歓、実に楽しい時間を過ごしました。

2年前より江川邸での竹灯籠祭りがなくなり、求心力を失った現場ですが、それにも関わらず地元の方々の熱意と市役所職員の方々の暖かい支援を受けて継続できた一年間でした。

この地で作業を始め



活動日 2/18 参加者 24名



て概ね10年経過、お互いに気心の知れた伊豆の国市の皆様との楽しい交流でした。

担当五十川健郎

都筑折本

折本では間伐の処理を、極力手間をかけずに自然に朽ちて土に戻すようにするとともに、素材として活用し構築物を作り、大人も子供も楽しめるフィールド作りを目指しています。

その1. ジャングルジム

第一弾として北山田のどんと焼きのやぐらを作る技術を応用してピラミッド型のジャングルジムを作りました。三脚に三段の桁を渡して上に登れる構造です。高さ約3メートルです。上に登ると地面で見る竹林とはちよつと違う眺めです。今回は試作段階なので更に進化したものを作る計画です。その2. パンブーハウス

竹林最上部の平坦な場所に休憩や荷物置き

場として使えるように小屋作りを始めました。壁は垣根作りの応用で穂先や丸竹で作りました。屋根は取り敢えずブルーシートですが竹林に似合うように竹材で作る予定です。

筍が出る頃にはこの中で採れたてのタケノコ料理を味わいたいと思います。

報告山根泰裕



活動日 12/20、1/20 延参加者 13名

竹林管理コース

今回の実習は四ツ目垣の改修です。奥の散策路の四ツ目垣2スパン分を取り外し、作り替への勉強です。古くなった四ツ目垣を撤去したところへ新規に作製です。

先生から四ツ目垣の基本となる、親柱・間柱への切込み寸法、胴縁の末口、元口の取り付け方向、立子の取り付け本数、組立て方法等を教えていただき作業の開始です。

親柱・間柱に胴縁をシユ口縄で男結びにして立子を固定し、親柱・間柱の間は通路側に3本、奥側に4本取り付

■講座 NO.8
2月10日
実習：竹林の間伐・竹垣改修
実習場所：小机城址 市民の森
講師：平石真司・中元秀幸
参加者 4名



けて四ツ目垣を完成しました。
講座も残す所、あと1回で竹の学校は終了します。管理コースの皆さんも最後まで頑張ってください。
報告事務局

北山田どんど焼き

穏やかな日和の1月13日、無病息災を祈り焚き上げる「どんど焼き」が国際プール隣り山田富士公園で行われました。出前協力が14年続いており、経験者が多く14名が参加しました。協力作業は北山田町内会主催「どんど焼き」に竹取協力隊が国際プール竹林の端に日頃から集積していた古・新竹を当日運搬し四角錐で地際辺長四辺、高さ約八辺の檜を組み、お役目済み正月飾りを檜周りに据え付



ける作業までになりました。
以下は隊員歴12年目で初参加した報告です。
10時前頃、檜周囲50以内外芝生上には人まばら、販売紅白餅入手待ち列長が町内会テント前には30数人、この位の人数かと思いがら檜周囲に荒縄巻きをし、持ち込まれて来る物の内、松飾りは下段に挟み、輪飾りは竹の端にかけ、注連縄と書き初めは上部に挟み掛けし、御札はそつと檜中の奥へと素早く飾

りました。
この間、町内担当から大き目なヘイソク（幣束）を檜中段に映えるよう据付依頼されたり、撮影したい書き初めを揚げたりしました。

着火十三時半前に周囲を見渡すと、たくさんの人々で、千五百人程の人数にびっくり。お神酒を頂いた後、取巻く消防団員が着火。後を託すよう我々は静かに引き上げました。
「どんど焼き」に町内係員は反射ベスト着用、消防団員は制服、協力隊員は腰に道具のみ。クラブ名入りTシャツを着用していれば、見て関心を持つ次世代の竹ファンクラブ会員の希望者が現われるのでは思いました。

報告 豊川 尚

ミニ門松づくり

12月24日の風の強い寒い日、北山田地区センターにて正月用のミニ門松講座です。
4名の講師が出向き、お客さんは15名が参加して盛況でした。
土台の下部のコモの裾を放射状に広げる事に四苦八苦しながらも、完成したミニ門松の写真撮っていました。
コモ、籾殻、松葉、細竹、セリリヨウなどの材料の確保をしてくれたYさん、毎年ありがとうございます。



報告 榮 千彰

「竹灯笼まつり」に参加しましょう！

本年も下記の通り「竹灯笼まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多く参加して下さいようお願い致します。

■4月6日(土)第12回横浜国際プール「竹灯笼まつり」林浴の庭(雨天の場合翌7日に順延)

■準備期間・前日・当日のスタッフ募集中です。

お手伝いいただける方は同封の申込書に必要事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。

平成31年度会費納入のお願い！

4月は会費更新の月です。

ファンクラブの活動は会員の皆様の会費やご支援に支えられて成り立っています。

一人一人の力は小さくても、仲間が増えれば社会を動かす大きな力となります。

是非本年も継続してファンクラブの活動をご支援下さるようお願い申し上げます。

会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円

(新規入会の正会員希望の方のみ、**継続会員は不要**)

◆会費種別

正会員 個人2,000円

(この法人の目的に賛同して入会、活動に参加し、総会の議決権を持つ個人)

準会員 正会員の家族1,000円、学生1,000円

(この法人の目的に賛同して入会、活動に参加し、総会の議決権を持たない個人)

賛助会員 個人3,000円、法人以外の団体5,000円、法人30,000円(各一口以上)

(この法人の目的に賛同し、活動を支援するために入会した個人、法人及び法人以外の団体で、総会の議決権を持たない)

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084

特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ



◆現役の慶大生が狩猟免許を取り、獣害対策活動へと立ち向かっている。小田原市と環境情報学部が「わなオーナー制

度」の実証実験を開始した◆猟友会やオーナーと協働で鉄製のオリやくくりわなを設置、課題は全国展開の組織化だが地域の願いの第一歩を踏み出した協働事業だ◆伊豆の竹林フィールドはモウソウチクとマダケがある。イノシシは芽子が筍になり地上に出る前に食べてしまう。中井町半分形もだが比較にならない程伊豆の被害は大きい◆映像でしか見たことのない「うり坊」は愛くるしいが、野菜や筍など餌のあるところには獣害が発生する◆竹林周囲に獣害対策ネットも張ったが、個所数も多く継続展開は難しかった。地域の協働活動の熱意を踏みにじる獣害は何とももどかしい。

「よこはま夢ファンド」の団体登録決定！

平成31年1月17日 横浜市市民局「よこはま夢ファンド」の団体登録が決定しました。ふるさと納税制度改正で、寄附金控除枠が拡大しましたので下記を参照の上、ぜひ横浜の市民活動団体を応援してください！希望する団体名に日本の竹ファンクラブとご記入の上、寄付をよろしくようお願い申し上げます。よこはま夢ファンド(市民活動推進基金)は皆様のご寄付で市民活動を支える横浜市の基金です。環境保全、福祉や国際交流などの活動分野のNPO法人の公益的活動への助成など、横浜市内であらかじめ登録された市民活動団体支援のために活用されます。皆様からの寄附金は基金に積み立てられ市民の皆様のご気持ちが活用されます。

●特典は横浜市のほか1万円以上寄付の方にクラブは当該年度の年会費・入会金と筍掘り等参加費を無料とします。

●この基金への寄附は、支援したい団体の活動分野や団体名を指定することができます。(必ずしも希望どおりにならないことがあります)

●基金へ寄附をすると、所得税や法人税について寄附金控除など税の優遇措置が受けられます。(NPO法人に直接寄附をしても、寄附金控除の対象にはなりません)

●よこはま夢ファンド税制上の優遇措置はこちらをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/tax.html>

●寄付申込先・Eメールの場合: sh-fund@city.yokohama.jp

・郵送の場合: 〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56 みなとみらい21クリーンセンタービル7階横浜市市民局市民活動支援課よこはま夢ファンド担当

・ファクスの場合: 045-223-2032 横浜市市民局市民活動支援課よこはま夢ファンド担当

平成30年度総会 6月16日(日)開催

平成30年度総会を下記の通り開催します。

別途案内状差し上げますのでご出席下さい。

日時 2019年6月16日(日) 13:00~14:00

場所 城郷小机地区センター

内容 総会 主な議題

① 平成30年度事業報告並びに収支決算・監査報告

② 2019年度事業計画並びに収支予算書

懇親会 カンカン酒場新横浜店 14:30~

会費3,500円(懇親会参加者のみ)

竹の学校「竹林管理コース」4名が卒業

前年度からの未受講分を履修して修了された方1名。今年度、全受講の方3名でした。おめでとうございます。西内英雄、居島英樹、横山 勝、萬國谷慶子(敬称略)

新入会員紹介

下線は竹取協力隊入隊者

◆なし

【活動報告】

2月17日(日)理事会

3月2日(土)通信発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

4月5日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備 10:00～15:00
4月6日(土) イベント	横浜国際プール (要事前申し込み) 第12回竹灯籠まつり(予備日7日) 9:00～21:00
4月7日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片付け(予備日8日) 10:00～12:00
4月9日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
4月10日(水) 援農隊	都筑折本 竹林整備 10:00～15:00
4月13日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り、密度管理 10:00～15:00
4月16日(火) 協力隊	横浜国際プール 10:00～15:00 竹灯籠割り・チップ化、密度管理
4月19日(金) 協力隊	横浜国際プール 10:00～15:00 竹灯籠割り・チップ化、密度管理
4月20日(土) イベント	小机城址市民の森 (要事前申し込み) たけのこ掘り 10:00～12:00
4月23日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
4月24日(水) イベント	都筑折本 筍掘り 10:00～12:00
4月25日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
4月26日(金) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠チップ化 10:00～15:00
5月5日(日祝) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 10:00～15:00 講義：竹の由来と生態 9:00～12:00 実習：穂先筍と竹水 13:00～15:00
5月9日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00

5月11日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
5月12日(日) 援農隊	都筑折本 竹林整備・密度管理 10:00～12:00
5月14日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
5月18日(土) 協力隊	伊豆の国市 韮山 竹林の整備 10:00～15:00
5月23日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
5月25日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹伐採 10:00～15:00 講義：筍の育成と管理 9:00～12:00 実習：若竹伐採 13:00～15:00
5月28日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
6月1日(土) 協力隊	横浜国際プール 10:00～15:00 若竹伐採と下草刈り(マダケ)
6月4日(火) 援農隊	都筑折本 若竹伐採 10:00～12:00
6月8日(土) イベント	中井町 (要事前申し込み) マダケの筍狩り 10:00～12:00
6月11日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
6月13日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
6月15日(土) 協力隊	伊豆の国市 韮山 竹林の整備 10:00～15:00
6月22日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹の伐採とお礼肥 10:00～15:00 講義：竹林の管理と育成 9:00～12:00 実習：若竹伐採とお礼肥 13:00～15:00
6月25日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
6月27日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993